

製品安全データシート

管理番号 800-0020

製造者情報	会社名	藤倉応用化工株式会社		住所	〒346-0028 埼玉県久喜市河原井町 23 番			
	担当部門	久喜工場 技術グループ		担当者	門倉 基之			
	電話番号	0480-23-1311	FAX 番号	0480-23-3148	作成、改定	2003. 4. 21		
製品の特定	製品名 : アクセルS No. 35 シンナー							
	製品説明 種類 : アクリル系合成樹脂塗料用シンナー 主な用途 : スチロール・ABS・アクリル塗料の希釈							
物質の特定 及び 有害性情報	成分及び含有量 (危険有害性物質を対象)				組成物質の有害性及び暴露濃度基準			
	成分名	CAS No.	PRTR	含有量	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	その他の有害性
	酢酸エチル	141-78-6	1 種 No. 227	10 %	400 ppm	400 ppm	—	LD50: 5620mg/kg
	酢酸ブチル	123-86-4		30	150	150	—	LD50: 10768mg/kg
	イソブタン	78-83-1		30	50	50	—	LD50: 2460mg/kg
トルエン	108-88-3	10		50	50	3	LD50: 636mg/kg	
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2	20		25	20	—	LD50: 530mg/kg	
組成物質に関するその他の有害性情報 : 情報をもっていない								
製品に関する有害性情報 : 製品としての安全試験は行っていない								
製品の物理 化学的性質	状態 : 液体 色 : 無色透明 臭気 : 溶剤臭、刺激臭 沸点 : 77.2-171.2℃ 蒸気圧 : 13332Pa (27℃) 密度 (比重) : 0.86 PH 値 : 該当しない その他 : 特になし							
危険性情報	製品特性	引火点 : -4℃ 発火点 : 240℃ 爆発限界 : (下限) 1.1% (上限) 15%						
	反応性 安定性	接触により危険性のある物質 : 特になし 燃焼などによる有毒ガス発生 : CO など その他の反応性情報 : 通常の条件では安定である						
	その他の危険性情報 : 特になし							
応急措置	目に入った場合	☆ 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 ☆ 医師の診断を受ける。						
	皮膚に付着した場合	☆ 付着物を布にて素早く拭き取る。 ☆ 大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。 ☆ 外観に変化が見られたり、傷みがある場合には、医師の診断を受ける。						
	吸入した場合	☆ 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には、人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受ける。 ☆ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし医師の診断を受ける。						
	飲み込んだ場合	☆ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。 ☆ 嘔吐物は飲み込ませないようにする。						
危険有害性の 分類	分類の名称 : 引火性液体、急性毒性物質							
	危険有害性コメント ☆ 非常に燃えやすい液体である。 ☆ 有機溶剤中毒を起こす恐れがある。							
漏出時の措置	☆ 付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆ 着火した場合に備えて、粉末または泡消火器を準備する。 ☆ 作業の際には適切な保護具 (手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等) を着用する。 ☆ 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。 ☆ 流出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。							

火災時の措置	使用可能消火器	炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂	使用不可能消火器	水
	消火方法 ☆ 適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ☆ 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除く。			
取扱、保管上の注意	取扱上の注意 ☆ 換気の良い場所で取扱う。 ☆ 容器はその都度、密栓する。 ☆ 周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆ 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。 ☆ 工具は火花防止型のものを用いる。 ☆ 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。 ☆ 使用済みウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水につけておく。			
	保管上の注意 ☆ 通風の良いところに保管する。湿気を避ける。 ☆ 日光の直射を避ける。 ☆ 火気、熱源から遠ざけて保管する。			
暴露防止措置	設備対策 ☆ 取扱設備は防爆型を使用する。 ☆ 排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆ 液体の輸送、汲み取り、混拌等の設置についてはアースを取るよう設備する。 ☆ 取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とする。 ☆ 屋内作業の場合には、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか局所排気装置などにより作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備とする。 ☆ タンク内部などの密閉場所で作業する場合には、密閉場所が、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。			
	保護具	呼吸系の保護	☆ 有機ガス用防毒マスクを着用する。 ☆ 密閉された場所では、送気マスクを着用する。	
		目の保護	☆ 保護メガネを着用する。	
		皮膚の保護	☆ 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。	
		その他の保護具	☆ 静電塗装をする場合には、通電靴を着用する。	
環境影響情報	☆ 漏洩時、廃棄などの際には注意を守る。			
廃棄上の注意	☆ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。 ☆ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。 ☆ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託する。			
輸送上の注意	共通	取扱及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。		
	陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法の該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。		
	海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。		
	航空輸送	航空法に定めるところに従う。		
	国連番号	1263		
主な適用法令	労働安全衛生法	危険物（引火性の物）	有機則（第2種有機溶剤）	
	消防法	第4類第1石油類（非水溶性）		
	船舶安全法	中引火点引火性液体		
	毒劇法	該当せず		
その他 主な引用文献	☆ 日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」 ☆ 溶剤ポケットブック ☆ 危険防災救急便覧 ☆ 国際化学物質安全カード（ICSC）			
(注意) 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には注意して下さい。				